

社会福祉法人土佐福祉会 定款

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

第二種社会福祉事業

- (イ) 障害福祉サービス事業の経営
- (ロ) 特定相談支援事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人土佐福祉会という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たるに担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は、低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を高知県土佐市高岡町乙1393番地の1に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名以上9名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員2名、外部委員1名の合計4名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した場合を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第7条 評議員の任期は、退任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時までとし、再任を防げない。

- 2 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお、評議員としての権利義務を有する。
- 3 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、選任した評議員の満了する時までとすることができる。

(評議員の報酬等)

第8条 評議員に対して、評議員一人あたりの各年度の総額が2万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第3章 評議員会

(構成)

第9条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第10条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分

(8) 社会福祉充実計画の承認

(9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第11条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3ヶ月以内と3月の計2回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第12条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第13条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第15条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第14条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名がこれに署名又は記名押印する。

第4章 役員及び職員

(役員の定数)

第15条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事6名以上7名以下
 - (2) 監事2名
- 2 理事のうち1名を理事長とする。
 - 3 理事長以外の理事のうち、1名を業務執行理事とする。

(役員を選任)

第16条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第17条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長及び業務執行理事は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第18条 監事は、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第19条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 理事又は監事は、第15条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

(役員解任)

第20条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは評議員会の決議によって解任

することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又は、これに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第21条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内において、別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(職員)

第22条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 理事会

(構成)

第23条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第24条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第25条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第26条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について意義を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第27条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

第6章 資産及び会計

(資産の区分)

第28条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の2種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 建物

所在 土佐市高岡町字尾目地端乙 1393 番地 1

家屋番号 乙 1393 番 1

種類 作業場

構造 鉄骨造スレート葺平家建

床面積 134.62㎡

(2) 基本財産基金 100万円

(3) 建物

所在 土佐市高岡町字尾目地端乙 1393 番地 1

家屋番号 乙 1393 番 1 の 2

種類 作業場

構造 鉄骨造スレート葺2階建

床面積 1階171.18㎡

2階171.00㎡

(4) 土地

所在 土佐市高岡町字走下北側

地番 乙 3553 番地 1

地目 宅地

地積 119.07㎡

(5) 土地

所在 土佐市高岡町字走下北側

番地 乙 3552 番地 3

地目 宅地

地積 115.70㎡

(6) 土地

所在 土佐市高岡町字走下北側

地番 乙 3552 番地 5

地目 宅地

地積 56.19㎡

(7) 建物

所在 土佐市高岡町字走下北側乙3552番地3、土佐市高岡町字走下北側乙3553番地1、
土佐市高岡町字走下北側乙3552番地5

家屋番号 乙3552番3

構造 鉄骨造陸屋根2階建

床面積 1階119.88㎡

2階122.04㎡

(8) 土地

所在 土佐市高岡町字東町南側

番地 甲2097番地1

地目 宅地

地積 648.52㎡

(9) 土地

所在 土佐市高岡町字東町南側

地番 甲2098番1

地目 宅地

地積 635.30㎡

(10) 建物

所在 土佐市高岡町字東町南側甲2097番地1

家屋番号 甲2097番1の2

構造 鉄骨造鋼板葺2階建

床面積 1階179.20㎡

2階181.68㎡

(11) 建物

所在 土佐市高岡町字東町南側甲2097番地1、土佐市高岡町字東町南側甲2098番地1

家屋番号 甲2097番地1の4

構造 木造スレート葺2階建

床面積 1階130.54㎡

2階104.27㎡

(12) 建物

所在 土佐市高岡町字東町南側甲2097番地1、甲2098番地1

家屋番号 甲2097番1の5

種類 寄宿舍

構造 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建

床面積 1階 132.49㎡

2階 121.31㎡

- 3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。
- 4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第29条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、土佐市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、土佐市長の承認は必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第30条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は、確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第31条 この法人の事業計画書、及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第32条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細

書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第33条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第34条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第35条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

第7章 公益を目的とする事業

(種別)

第36条 この法人は、社会福祉第26条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

日中一時支援事業

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

第8章 解散

(解散)

第37条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解

散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第38条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第9章 定款の変更

(定款の変更)

第39条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、土佐市長の認可（社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を土佐市長に届出なければならない。

第10章 公告の方法その他

(公告の方法)

第40条 この法人の公告は、社会福祉法人土佐福祉会の掲示場に掲示するとともに、官報又は新聞又は電子広告に掲載して行う。

(施行細則)

第41条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員の選任を行うものとする。

理 事 伊 東 聖 純

理 事 西 森 貞 男

理 事 神 崎 茂

理 事 井 上 智 子

理 事 森 田 元 正

理 事 山 口 徳 房

理 事 上 野 伸 悟

理 事 清 水 征 紀

理 事 中 島 澄 男

監 事 伊 藤 博 史

理事 井上 龍雄

監事 横飛 信夫

理事 宮本 智行

2. この定款は平成8年4月24日より施行する。
3. 平成09年05月29日、第12条変更、基本財産に(3)建物を追加。
4. 平成10年10月01日、第9条、第17条、第18条変更
5. 平成11年09月17日、第1条変更(用語…精神薄弱者を知的障害者に)
6. 平成12年07月27日、第4条(1)変更。(理事定数11を12に)
7. 平成12年08月31日、第1条変更。(2)として日高のぞみ福祉作業所の設置を追加)
8. 平成13年03月28日、定款準則の変更に伴い、追加変更。
9. 平成16年03月10日、
 - (1)第1条(ふれあい作業所の設置・経営)を追加
 - (2)第1条変更(グループホームふれあい)の設置、経営を追加
 - (3)第5条変更理事定数を7名
 - (4)評議員会設置関連変更
 - ①章1, 条5増で全7章32ヶ条となる
 - ②評議員の定数15名
 - ③7条変更
 - (5)第18条変更、基本財産に(4)土地(5)建物(6)土地(7)土地を追加
 - (6)第19条(旧14)条変更 社会福祉医療事業団が独立行政法人福祉医療機構と改名
10. 平成16年12月16日、
 - (1)第1条変更、分場土佐ふれあい工房の設置経営とグループホーム「第2ふれあい」を追加
 - (2)第19条変更、定款準則の変更に拠る
11. 平成18年9月29日、
 - (1)第1条の(3)を変更(日高のぞみ～を削除)
 - (2)第14条の2を変更
 - (3)第18条の2に(8)を追記(分場新築)
12. 平成18年9月29日、
 - (1)第5条4…の～2名を1名に
 - (2)第31条…高知新聞を新聞等に
13. 平成18年9月29日

(1)第1条の(2)、(ア)(イ)及び(3)(ア)(イ)を削除し、(ア)障害福祉サービス事業（ふれあい）を追記

14. 平成20年1月31日 認可 高知県指令19高障害第1675号

(1)第1条(1)(ア)(イ)より「設置」を削除

(2)第1条(2)(ア)に「経営」追記

(3)第1条(3)(ア)削除

(4)第3条 もって地域福祉の～ 追記

(5)第4条 事業所を事務所に變更

(6)第9条 軽易な業務を理事会が定める～に變更

(7)第9条 3 第13条 3 召集を招集に變更

(8)第13条 9 「評議員の議事」を「評議員会の議事」に變更

(9)第13条 10 「実務実態」を勤務実態」に變更

(10)第14条 (1)に、決算、を追記

(11)第14条 (2)～義務の～を追記

(12)第14条 2 「くものとする。」を「かなければならない。」に變更

(13)第18条 2 (5)建物 乙2552番地2 を削除

(14)同上 居宅、物置を削除し、宿泊所を追記

(15)同上 木、「軽量鉄骨造 瓦・スレート・セメント瓦・鉄骨葺 2階建」を削除し、「木造瓦・鋼板葺 2階建」を追記

(16)同上 床面積 1階 213.59 m² 2階 80.74 m²を1階 89.56 m² 2階 91.06 m²に變更

(17)第23条2 「サービス」を福祉サービス」に變更

(18)第30条及び2 「厚生省令」を「厚生労働省令」に變更

(20)第31条 「新聞等」を「官報又は高知新聞」に變更

15. 平成20年3月17日 許可申請中

平成20年5月23日 許可

(1)第13条 評議員数15名を17名に變更

16. 平成21年7月 認可申請中

平成21年9月9日 認可

(1)18条、2、(5)増築による床面積の變更

(2)18条、2、(9)～(12)不動産購入により追加

17. 平成21年9月9日 認可添付書類 福祉指導課より變更指摘

第25条規定—規程、第7章—第6章、第30条—理事総数の 第8章—第7章

18. 平成22年6月17日 認可

18条、2、(13)ケアホーム新築により追加

19. 平成 23 年 5 月 18 日 認可（日中一時支援事業 追加）
第 4 章 公益を目的とする事業追加、第 5 章第 20 条公益事業追加、各章、各条、
順次変更
20. 平成 24 年 8 月 8 日
第 1 条 （1）（ア）及び（イ）を削除
第 1 条 （2）（ア）障害福祉サービス事業（ふれあい）の経営を
第 1 条 （1）第 2 種社会福祉事業（ア）障害福祉サービス事業の経営に変更
第 20 条 2 （1 2）削除
第 20 条 2 （1 3）を（1 2）に変更
21. 平成 25 年 7 月 29 日 認可
第 1 1 条 2 高知県知事を土佐市長に変更
第 2 1 条 高知県知事を土佐市長に変更
第 3 1 条 高知県知事を土佐市長に変更
第 3 2 条 高知県知事を土佐市長に変更
第 3 2 条 2 高知県知事を土佐市長に変更
22. 平成 27 年 3 月 14 日 認可
第 1 条 （1）（イ）追加
第 20 条 2 （5）を削除
第 20 条 2 （6）を（5）、（7）を（6）、（8）を（7）、（9）を（8）、（10）を（9）、（11）を（10）、（12）
を（11）に変更
23. 平成 29 年 1 月 26 日 認可 この定款は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
24. 平成 30 年 5 月 11 日 認可
第 27 条 2 議事録署名方法の変更
第 28 条 2 （1 2）追加